

モニタリング結果報告書 (平成28年度)

1. 施設概要

施設名	東高根森林公園		
所在地	川崎市宮前区神木本町2丁目		
サイトURL	http://www.kanagawaparks.com/higasitakane/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進 (S53. 4. 25)		
指定管理者名	東高根森林公園パートナーズ		
指定期間	H27. 4. 1~H32. 3. 31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>・利用状況の評価はA、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はBで、3項目評価はAとなった。</p> <p>・公園利用の促進や地域における公園の活用に積極的な取組が図られているが、樹林地管理の在り方の検討や公園外周の人家に配慮した植物管理の強化に取り組んでいく必要がある。</p> <p>・また、提案事項の実施については、これまでの成果や取組状況を考慮の上、必要に応じた見直しを図るなど、柔軟かつ創造的な管理運営に取り組んでいくことが望まれる。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案に基づく利用促進は、170ものプログラムを実施し、参加者の好評が得られている。植物管理は、検討中の取組もあり、苦情や要望に対する改善が現れていないため、計画的な取組を促した。 <p>◆利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より約8千人減少したが、閑散期の利用促進を図った結果、目標達成率は104.5%であり、A評価となった。 <p>◆利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が年間5回調査を実施し、上位2段階の回答割合が94.1%となったため、S評価となった。 <p>◆収支状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支出実績は、1,082千円の赤字(収支比率98.09%)であるためB評価となっているが、利用促進事業による図鑑やグッズ販売、イベント実施時の参加料により不足分を補い、収支は均衡(100.05%)している。 <p>◆苦情・要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園外周の人家に配慮した樹木管理を段階的に取り組むこととしているほか、利用者の安全確保を図っている。 <p>◆事故・不祥事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転倒事故について、即日、段差箇所の立ち入りを規制し、再発防止に努めた。負傷者は全治している。 ・募金活動については、平成29年4月3日の県民からのメールを受け、平成29年4月10日の指示書で事実関係を調査した結果、指定管理者は、28年度から29年度に開催した「森のコンサート」で、条例に基づく許可を得ず、また、来場者の心情に配慮せずに出演者の支援を目的とした3回の募金活動を行ったことが判明した。平成29年5月24日に県からの改善勧告を受け、平成29年6月2日に指定管理者から法令遵守と業務実施方法の見直しを行う改善計画書が提出された。今後、計画に基づく業務改善の状況を確認していく。 <p>◆労働環境の確保に係る取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なお、平成28年度の3項目評価についてはA評価とした。過年度からの継続的な取組に加え、中長期的な維持管理運営計画の検討、提案事項の実現化や利用者や周辺住民の安全安心の確保に、より一層、積極的な取組が望まれる。 	
3項目評価	<p>S : 極めて良好 A : 良好 B : 一部改善が必要 C : 抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無し	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	毎月2～3回程度	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		指導：事実関係について報告を指示 勧告：1.現状分析と業務実施方法等の再検証 2.再発防止策の検討・実施

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
多種多様な生物の有する豊かな生態系の保全・育成を行う。	過年度の取組みを継続しているほか、市民参加による動植物のモニタリング調査の試行を行った。	植生管理計画の検討が進んでいないことから早期の策定が望まれる。
公園の魅力(歴史・文化・自然)を教材とした学習の機会を創出する。	歴史・文化体験型は計23回、自然体験型は計37回実施しており、テーマを持った連続講座も実施している。	今後も、多様なニーズへの対応と体系的な学習の機会の提供が望まれる。
専門技術や知識を持つ方々と連携し、学習内容やプログラムを充実する。	外部講師やアマチュア団体等と連携した利用促進は、74回実施している。	利用者ニーズや公園のコンセプトに応じた新たな企画や更なる深化が望まれる。
地域に活動情報を計画的に提供するほか、地域活動に積極的に参加する。	過年度から継続する世代間交流に対する取組みや、高齢者福祉施設や介護施設との積極的な連携が見られる。	地域づくりの情報共有・体験機能への取組みが望まれる。

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
有料駐車場事業による利便性の向上、安全確保、緑化協力金の徴収を行う。	提案どおり実施している。
既存自動販売機の継続設置に加え、新規に飲料用自販機の設置を行う。	4台を継続設置し、新たに2台を新設している。
地域の遺跡に関するガイドブックを発刊する。	企画中であり、発刊されていない。
ミツバチの飼育に関する協議と事例収集、資格・認可等の取得をする。	事例収集に留まっており、県との協議や資格・認可等の取得は未了。

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	374,316	373,795	365,760
対前年度比		99.9%	97.9%
目標値	359,565	350,000	350,000
目標達成率	104.1%	106.8%	104.5%

目標値の設定根拠： 前々年度：平成18～20年度実績平均の95%
前年度、平成28年度：提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

[参考：最大利用可能人数／年]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日3回、平日2回の計5回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 119 / 119 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	78	34	2	2	3	119	きれいになっている
回答率	65.5%	28.6%	1.7%	1.7%	2.5%		
前年度の回答数	111	42	4	3	0	160	
前年度回答率	69.4%	26.3%	2.5%	1.9%			
回答率の対前年度比	94.5%	108.8%	67.2%	89.6%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 公園スタッフの対応はいかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 90 / 90 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	71	13	3	1	2	90	挨拶をかかさない
回答率	78.9%	14.4%	3.3%	1.1%	2.2%		
前年度の回答数	49	11	22	0	0	82	
前年度回答率	59.8%	13.4%	26.8%				
回答率の対前年度比	132.0%	107.7%	12.4%	0.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	45,736	0	6,291	駐車場6,291	52,027	52,027	0	100.00%
	決算	45,736	0	5,935	駐車場5,935	51,671	53,377	-1,706	96.80%
前年度	当初予算	45,924	0	8,169	駐車場5,842 自販機2,327	54,093	54,093	0	100.00%
	決算	45,984	0	8,639	駐車場6,367 自販機2,272	54,623	55,368	-745	98.65%
28年度	当初予算	46,169	0	9,176	駐車場6,220 自販機2,956	55,345	55,345	0	100.00%
	決算	46,169	0	9,475	駐車場6,763 自販機2,712	55,644	56,726	-1,082	98.09%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)
28年度 / 前年度 / 前々年度 /

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所管繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
平成29年2月	387	パークセンター・自動ドア装置交換
平成29年3月	473	花木広場・インターロッキング舗装不陸補修

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額 (千円)	内 容 (金額 (千円))
収 入		
支 出		
積 立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	口頭	5 件 ・越境樹木の剪定・伐採、落ち葉対策の実施	・H29年度に剪定を実施予定
	アンケート	2 件 ・水飲み・遊具周辺に不陸がある	・不陸の整正
	アンケート	1 件 ・簡易サインの花名が小さい	・簡易サインの標記の見直し
職員対応	メール	1 件 ・立入り禁止場所（植栽帯）への注意の仕方	・丁寧な接遇の徹底
	メール	1 件 ・無料イベントにも関わらず、寄付を強要された (H29. 4. 5收受)	・法令遵守の徹底と業務実施方法の見直し
事業内容	アンケート	6 件 ・除草しすぎる (きれいにしすぎる)	・生物に配慮した方法の検討
その他	口頭	1 件 ・臨時駐車場の駐車方向(排ガス抑制)の徹底	・誘導時の指導の徹底

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況 (内容及び実施日を記入) ③その後の経過 (現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等) ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無 (有の場合は概要を記入) ⑤原因及び費用負担の有無 (費用負担が有の場合は内容および負担者を記入) ⑥記者発表の有無 (有の場合はその年月日を記入)
H28. 8. 16	①男性が、段差部分で会話中に移動した際、つまづいて転倒、裂傷及び打撲を負った。 ②段差部分での通行制限をするよう、再発防止を指示。(H28. 8. 16) ③プランターの設置による通行制限により、再発を防止。裂傷及び打撲は治癒。 ④無し ⑤無し ⑥無し
H28. 4. 3 H28. 12. 17 H29. 4. 2	①「森のコンサート」で、条例に基づく許可を得ずに、指定管理者が募金行為をした。 ②H29. 4. 10に指導書を発出し、聞き取りを実施。H29. 5. 24に改善勧告を発出。 ③H29. 6. 2に法令順守研修等を実施する旨の改善計画書を收受。今後、計画に基づく業務改善の状況を確認していく。 ④県民からの問い合わせにより、募金活動が行われていたことが判明した。 ⑤担当者が条例や来場者の心情に配慮せず、出演団体支援を目的に募金活動を行った。 ⑥記者発表はせず、指定管理者のホームページと園内掲示板に顛末を掲示した。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査 (包括外部監査含む) 又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。